

# 夏に陶竹のいたのいろにかたち×しむ器

2024  
7/13 sat

前期  
7/13  
(土)  
—  
8/18  
(日)

後期  
8/21  
(水)  
—  
9/23  
(月・振休)  
9/23 mon



## 開館時間

午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

## 休館日

月曜日(祝日の場合は開館)、  
7月16日、8月13日、20日、9月17日

## 観覧料

一般/大・高生800(640)円、中学生以下無料

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料 \*()内は20名以上の団体料金

\*企画展の料金で収蔵品展IIを無料観覧できます \*「家庭の日」の第3日曜日(7月21日、8月18日、9月15日)は中学生以下の子供の同伴者2名まで観覧無料

## 主催

栃木市教育委員会、栃木市立美術館

## 後援

朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送

## 栃木市立美術館・文学館企業等サポーター

滝沢ハム株式会社、栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、  
株式会社吳光製作所、トヨタホーム株式会社栃木事業所、ケーブルテレビ株式会社

栃木市立美術館

Tochigi City Art Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26

Tel: 0282-25-5300

[www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/](http://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/)

左上から：中田一於《袖裏銀彩花文水滴》1982年頃 当館蔵[石井コレクション]／田村耕一《銅彩花文水滴》1986年頃 当館蔵[石井コレクション]／初代田辺竹雲斎《福禄寿花籃》1922年 個人蔵／初代田辺竹雲斎《蝶》1901-30年頃 個人蔵／二代飯塚鳳齋《器局》大正後期 個人蔵／富本憲吉《色絵四弁花香炉》1950年 当館蔵[癸生川コレクション]／二代田辺竹雲斎《伸 花籃》1980年 個人蔵／加藤土師萌《袖裏金彩波千鳥文茶碗》1966年頃 当館蔵[癸生川コレクション]／飯塚琅玕斎《花籃》1936年頃 個人蔵

# 夏にたのしむ器 竹のかたち×陶のいろ

前期  
7/13(土)  
8/18(日)  
後期  
8/21(水)  
9/23(月・振休)  
**2024  
7/13 sat | 9/23 mon**

2022年に開館した栃木市立美術館は、前身であるとちぎ蔵の街美術館のコレクションを引き継ぎ、栃木市ゆかりの作家を中心に洋画、日本画、版画、彫刻、工芸などを収蔵しています。なかでも近現代に活躍した二代飯塚鳳齋と琅玕齋、弟子の齋藤文石の竹工芸は、当館のコレクションの特色となっています。

本展は「夏にたのしむ器」をテーマとして、収蔵品を中心に竹の花籠などの形、陶磁器に装飾された色に注目します。竹工芸は個人コレクターの協力を得て、二代飯塚

鳳齋と琅玕齋、初代と二代の田辺竹雲斎の作品を展示し、東京の飯塚家と大阪の田辺家の竹工芸の一端を紹介します。陶芸は重要無形文化財保持者（通称 人間国宝）に認定されている富本憲吉、濱田庄司、加藤土師萌、近藤悠三らが優れた技で表現した装飾を、茶碗や水滴からご覧いただきます。

猛暑が予想される今夏。夏ならではの涼やかな趣を、絵画と書の作品を交えた約80点でお楽しみください。



左上から右へ: 田村耕一《青銅彩竹鶯文蓋付壺》1986年頃 当館蔵[美生川コレクション] / 初代田辺竹雲斎《金明竹花籠 末廣》1901-30年頃 個人蔵 / 飯塚琅玕齋《白錆花籠》1940年頃 個人蔵 / 二代飯塚鳳齋《鳳葉籠》1928年 個人蔵 / 山田光《青白磁幾何学文水滴》1980年頃 当館蔵[石井コレクション] / 近藤悠三《染付柘榴文香炉》1975-84年頃 当館蔵[美生川コレクション] / 清水卯一《蓬莱掛分茶器 銘 山々》1993年頃 当館蔵[美生川コレクション] / 飯塚琅玕齋《煤竹花籠》1944年頃 個人蔵 / 二代田辺竹雲斎《富貴花籠》1950年頃 個人蔵 / 飯田清石《竹花籠》1959年 当館蔵

## 関連イベント

### 講演会「東の琅玕齋×西の竹雲斎」

2人の講師が30分ずつ、本市ゆかりの竹工芸家・飯塚琅玕齋と大阪の堺市を拠点にする初代から四代までの田辺竹雲斎の作品の魅力について語ります。

講 師=鈴木さとみ 氏(栃木県立美術館 主任研究員)、島崎慶子 氏(菊池寛実記念 智美術館 主任学芸員)

日 時=8月31日(土) 午後2時~3時30分

場 所=きららの杜とちぎ蔵の街楽習館

(市民交流センター) 大交流室

定 員=50人

参加費=無料

[申込方法] 電話 0282-25-5300(先着順)

8月2日(金) 午前10時~

### お茶席(椅子席)

椅子席でお菓子付き抹茶を召し上がれます。ご希望の方は、お点前体験もできます。受付時にお申し出ください。

日 時=9月15日(日) 午前10時~午後3時

場 所=栃木市立美術館 多目的室(つなてみち)

対 象=どなたでも(小学生以下は要保護者同伴)

お茶券=1人500円(抹茶と菓子)

\*お菓子がなくなり次第、終了します。

### 学芸員によるギャラリートーク

日 時=8月25日(日)、9月21日(土)

午後2時~(30分程度)

集合場所=展示室A

\*要当日の企画展観覧券

### 同時開催「収蔵品展II」展示室C

観覧料=一般／大・高生 330(260)円、中学生以下無料

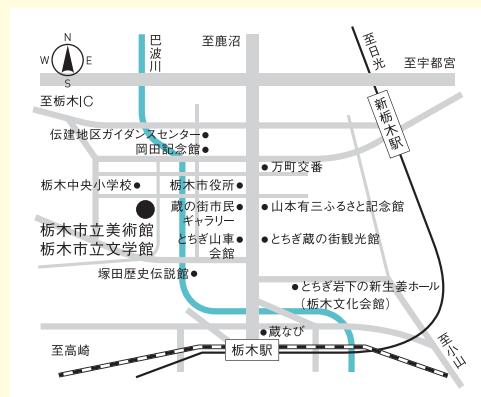
\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

\*()内は20名以上の団体料金

\*企画展の観覧券で収蔵品展を観覧できます

### 栃木市立文学館のご案内

企画展「没後50年 山本有三宛書簡から見る交友」  
~9月29日(日)



交通アクセス  
電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分  
バス 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分  
車 東北自動車道、栃木ICから約10分

栃木市立美術館  
Tochigi City Art Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel: 0282-25-5300 [www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/](http://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/)



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram